

# 平成21年3月（第1回）議会一般質問事項

## 1 市民との対話について

- (1) 市政モニター
- (2) 市長懇話会
- (3) 市政懇談会
- (4) 21市民会議

## 2 消防行政について

- (1) 現状
- (2) 今後の対応
- (3) 消防通信システム
- (4) 消防庁舎

## 3 コミュニティバス事業について

- (1) 現状
- (2) 見直し
- (3) 安全管理
- (4) 有料化

## 4 地域のイベントについて

- (1) まつり等の現状

## (2) 見直し

## (3) 都市緑化フェア後の花事業

## (4) 市民緑花フェア

伊勢崎クラブを代表いたしまして、通告に従い順次質問をいたします。

まず初めに、市民との対話についてお尋ねいたします。

市民の声をどう吸い上げ、いかに取り組み実行していくのか。

全市の均衡ある発展と住民福祉の維持向上を図るため、限りなく多くの市民との対話が必要かと思われま。

五十嵐市長は、市民とともにつくる市政、対話と協調による公平公正な市政をマニフェストに掲げました。

3月1日の広報いせさきに、市政に生かそう市民の声と題して、平成20年度市政モニターの意見と提案が見開きの2ページにわたり大きく掲載されておりました。

そのページの写真を見ると、五十嵐市長の後ろ姿が写っており、早速公約実現のため行動に移し、市民との対話を図られたのかと思います。

そこで、市が今まで取り組んできた市政モニター、市長懇話会、市政懇談会、21市民会議等ではありますが、現状をどう把握し、活用・計画していくのか、まず初めにお尋ねするところでもあります。

また、五十嵐新市長のもと、市民との対話を今後どのように進めていくのか、新たな施策等があるのかお尋ねいたします。

2点目、消防行政についてお尋ねいたします。

21万市民が安心して安全に暮らせるまちづくりを進める上で、消防の果たす役割は大きなものがあり、その献身的御努力に対し、まずもって敬意を表するものであります。

本市の消防は、広域組合を経て、その後合併等により現在の姿になっております。

そこで、21万市民が、安心安全に暮らせるのに足り得る体制であるのか、署の配置、職員、車両及び機材等の現状と、それらのものが適正で有効に使われているかお尋ねいたします。

次に、消防行政のあり方をどう考えているのか。また、安心安全課が設置され、消防部局が一緒になって行政を推進しなくてはならないと思われま。

交流を含め、今後の対応をどう考えているのかお尋ねいたします。

次に、消防通信システムについてお尋ねいたします。

救急患者を抱え、何軒もの病院をたらい回しにされ、何時間もかかって病院に搬送されたというニュースをよく耳にいたすところでもあります。

本市の現状、医療機関との連携等について、どのようになっているのかお尋ねいたします。

また、システムが変わると聞いていますが、どのようになるのか、今後の計画等についてお尋ねするところでもあります。

次に、消防庁舎についてお尋ねいたします。本市の消防庁舎は昭和46年の建設と聞いております。

消防庁舎は防災拠点としての役割も担うと考えられます。

耐震性は大丈夫なのか、建てかえはあるのか、あるとすれば移転候補地等を含め、今後の計画についてお尋ねいたします。

3点目、コミュニティバス事業についてお尋ねいたします。

コミュニティバスあおぞらは、現在シャトル便5路線、巡回バス2路線、地域連絡便3路線の合計10路線59便の運行と聞いております。

交通弱者のため、ふれあいバス等の名称で旧市町村時代からコミュニティバスは運行されてきております。

昨年4月の再編により15路線108便、停留所の見直し等を行い現在に至った経過があります。

そこで、あおぞらになって1年が経過しようとしていますが、利用状況の変化、利用者の声、また利用者の反応はどうであったかお尋ねいたします。

また、これらの事を踏まえ、今後見直し等をどう考えているのかお尋ねいたします。

また、あおぞらの名前のように、広く大きな空で、澄み渡った、乗って安心感のある安全なバスあおぞらでなくてはなりません。

なおかつ、無事故、無違反でなくてはならないことは言うまでもありません。

ましてや、人身死亡事故を起こすなどあってはならないことでもあります。現在、1社が10路線運行されていますが、安全教育等、市として業者に対する安全管理はどのように行っているのかお尋ねいたします。

先日の新聞で、他市がコミュニティバス無料化検討中という記事を目にいたしました。

当市においては現在無料で運行しており、先進地として誇れることではありません。

そんな中で、デマンドバスの研究、これを考えているのか。

また、料金体制を、今無料であるが、有料化を検討する、そんな考えがあるのか、あわせお尋ねいたします。

最後、4点目、地域のイベントについてお尋ねいたします。

合併して5年目に入り、五十嵐新市長のかじ取りのもと、新伊勢崎市のさらなる発展を目指し、伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全にのスローガンのもと、伊勢崎市を構築していくのだと思われま

す。花火大会においても、熟慮に熟慮を重ね、断腸の想いで市長は休止にしたのだと推察するところでもあります。

そんな中、市内各地において、祭りやイベントが市民総参加のもと開催されておりますが、現状をどうとらえ、見直し等を含め、今後の考え方をお尋ねいたします。

次に、都市緑化フェア後の花事業及び市民緑花フェアについてお尋ねいたします。

昨年、第25回全国都市緑化ぐんまフェア in いせさき及び第8回市民緑花フェアが、秋開催においては10月4日から11月9日まで、波志江沼環境ふれあい公園をメイン会場に、また旧郡部を中心に伊勢崎市を含め、各地をリレー会場としてにぎやかに開催されたことは、まだ記憶に新しいことでもあります。しかし、これが一過性の催しで終わってしまうのか気になるところでもあります。各地においては、長年かけて丹精に仕上げ育ててきたものもあり、市民緑花フェアについても、第7回まで いせさき市民のもり公園において開催されてきましたが、市民へのPR、あるいは今後の活動等、まだまだ研究することがたくさんあると思われま

す。今後についてどのような考えがあるのかお尋ねいたします。

以上で質問を終わりますが、御答弁によりましては、再質問を留保いたします。